

人間の生活・社会の理解【家族援助論】

担当教員	長岡 真希子	所 属	秋田大学大学院医学研究科
対象学年/開講時期	第2学年/後期	単位数(時間数)	1単位(20時間)
履修の目的			
<p>① 家族を看護の対象として理解し、家族を1つの単位として援助する必要性を認識するために、家族の概念、家族の構造・機能・発達とその変容、及び家族の仕組みを学習する。</p> <p>② 家族看護学の理論を学び、看護者の果たす役割と援助方法について理解する。</p>			
授業の形式 講義形式			
成績評価の基準等 出席状況、授業に臨む姿勢や演習への参加状況及び講義終了後の筆記試験			

【教科書・参考図書】

番号	書 名	発行所
①	看護学テキスト NiCE 家族看護学	南江堂

【授業計画】

授業回数	履修主題	履修内容	教科書	担当教員
第1回	家族とは何か	家族看護を学ぶ準備として家族を知る、自己の認識を知る	①	長 岡
第2回	家族形態の変化と社会問題	家族形態の変化と社会問題について学ぶ	①	長 岡
第3回	家族看護の対象の理解	家族看護の対象とは何か、家族の機能、家族の発達段階、家族システム論について学ぶ	①	長 岡
第4回	家族看護アセスメント、支援方法を学ぶ	家族看護のアセスメント、支援方法を学ぶ	①	長 岡
第5回	事例に基づいた家族の理解と支援(事例検討会) I	家族支援における実践として事例に基づいた看護過程の展開についてグループで事例検討行う	①	長 岡
第6回			①	長 岡
第7回	事例に基づいた家族の理解と支援(事例検討会) II	グループの検討結果を発表し全体でディスカッションする	①	長 岡
第8回			①	長 岡
第9回	事例の基づいた家族の理解と支援 III(事例検討会の振り返り)	事例検討会の振り返り	①	長 岡
第10回	家族看護の実際を学ぶ	家族看護の展開について学ぶ	①	長 岡
修 了 試 験				